

ポジション・インジケータ 概要

■特長

- デジタル回転表示のため、簡単に読み取りが可能です。
送りねじでの位置決め、割り出しが便利です。
製造現場でのねじ機構装置の段取り替えの際に、スケール等の表示読み取りミスによる設定間違いを防止します。
- 豊富なラインナップ
当社の台形ねじに合わせ、製品をラインナップ。文字盤の大きさが2種類、取付タイプ3種類、ボディー色2種類をご用意しております。
位置表示4桁・5桁製品と、ゼロセット機能付製品をご用意しております。

	スタンダードタイプ	フロントタイプ	垂直タイプ	カウンター表示
取付位置	作業者の目線よりも低い位置への取付時に使用	作業者の目線に近い位置への取付時に使用	垂直に設置された、ねじ機構への取付時に使用	
コンパクトタイプ				4桁タイプ 5桁タイプ コンマ台 百分台 4.8 3.5 2.5 ・4桁タイプは一番左のカウンターがブランクになっています。
ラージタイプ（ゼロセット機能付）				5桁タイプ 6.5 4.1 2.0

●コンパクトタイプ

カバー色	表示桁数	送りねじのピッチ (1回転表示数)
オレンジ	4桁	2 3 4 5 6
シルバー	5桁	

- ・4桁と5桁表示が同サイズで可能です。
- ・取付軸端径6・8・10・12・14に対応。
- ※台形ねじのピッチと合わせていただくと、1回転した時の表示数とピッチが一致します。

■ゼロセット機能付特長（ラージタイプのみ）

従来品は取り付け時に、0（ゼロ）になるようカウンターを戻してからねじ軸に固定する必要がありましたが、ゼロセット機能付きは、ねじ軸に固定後でも簡単に0（ゼロ）に戻すことができます。したがい、微妙な位置調整が簡単にできます。また、段取り替え時の0（ゼロ）セットも容易にできます。

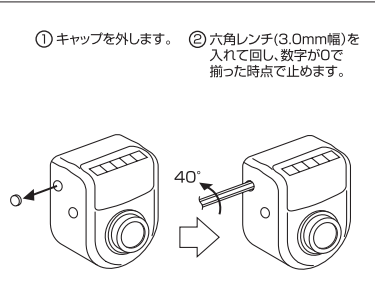
■ゼロセット方法説明（ラージタイプのみ）

- ①各タイプの該当横穴のキャップを外します。（穴位置は下記図を参照ください）
- ②六角レンチ（3.0mm幅）を入れて、回転方向に約40度の範囲で回転させます。
- ③カウンターの数字が0（ゼロ）になった時点で、六角レンチを抜きます。

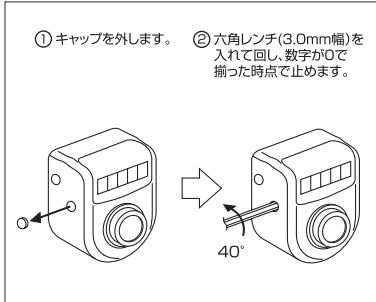
⚠注意

六角レンチを必要以上に回転させると破損の原因になります。
又、回転させるときはゆっくりと回転させます。
六角レンチが入るようにカウンター周りの設計に留意ください。

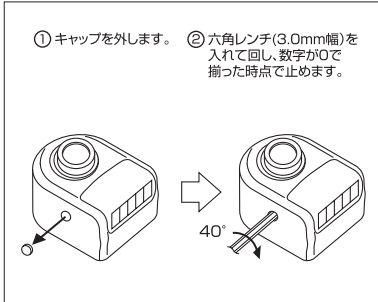
■スタンダードタイプ



■フロントタイプ



■垂直タイプ



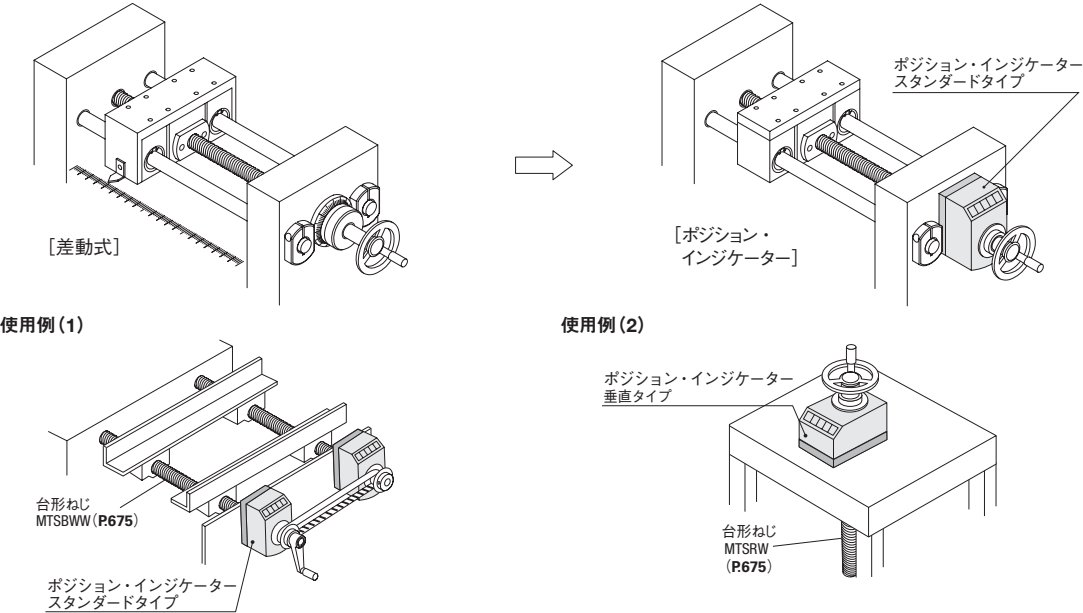
⚠六角レンチを必要以上に回転させたり、強く回転させると破損の原因となります。

■使用用途

ねじ送り機構を採用したテーブル移動、スライド調整など、現在の設定位置を確認したい用途にご使用いただけます。

従来方法：スケールの目盛読み取りミスが発生。

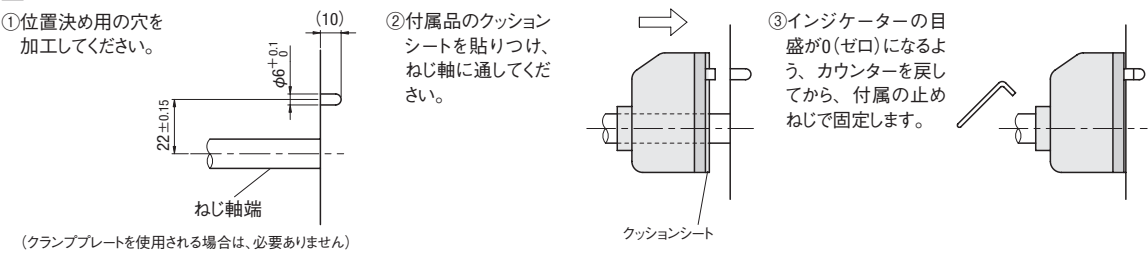
インジケータ使用時：デジタル表示により、読み取りミス低減。



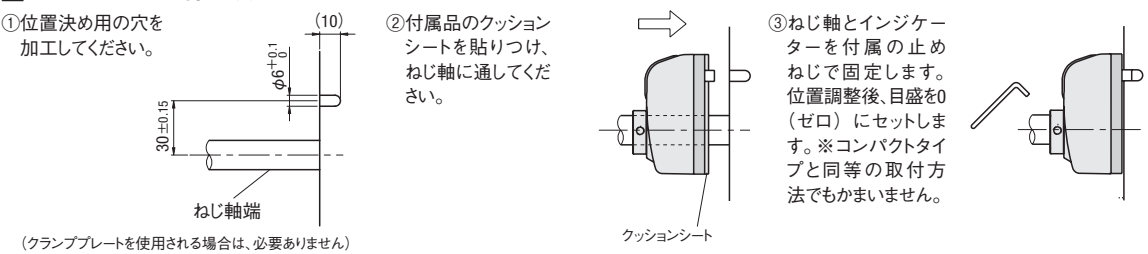
■注意事項

- ・右回転タイプはねじ軸（台形ねじ・すべりねじ等）を右回りにまわすとカウント数が回転数に応じて増加し、左回りにまわすと減少します。左回転タイプはその逆になります。
- ・起動時の回転速度は最高回転数（rpm）の1/3以下でご使用ください。
- ・急加速・急停止での使用は避けてください。
- ・電動ドライバーなどでの使用は避けてください。破損の原因となります。
- ・シャフトがスラスト（軸）方向に動く場合は、ご使用になれません。

■コンパクトタイプ取付け方法



■ラージタイプ取付け方法



10 台形ねじ
すべりねじ